



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (4/30 現在)
世帯数 2,261 総人口 6,217 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

第2次まちづくり行動計画策定へ

住民アンケート調査等を実施

志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左門会長)は、地域住民が主体となつて、地域の人々と共通の願いを実現するため、課題の解決やまちづくりの構想・計画策定など、人々が住み続けたいと願う豊かで住みやすい町づくりを目指し、平成26年度に「まちづくり指標」を制定しました。

その指標に基づき、「まちづくり行動計画」を策定し、分野ごとに具体的な目標と推進方針を挙げ活動を展開してきましたが、同計画が平成29年度末をもって終了

するため、引き続き平成30年度からの第2次まちづくり行動計画(5ヶ年計画)を策定します。

近年当学区の社会環境は大きく変化し、少子高齢化が進む地区と多子化する地区に二極化され、学区全体の活動や各種団体等が一斉に活動する施策に限界が出てきています。そのような中で、少子高齢化に対応した地域福祉や、子どもの育成、防災・防犯、環境など重要課題に地域が一丸となって取り組むことが必要になってきています。

そこで学区全体の現状や問題点などを把握し、第2次まちづくり行動計画策定の基礎資料として、まちづくり協議会の今後の活動に反映させることを目的に「学区住民アンケート調査」各種団体とのヒアリングを実施します。

実施にあたっては設問作成や分析



がんばる地域応援交付金審査でプレゼンした資料

志津南市民センターは4月1日からまちづくりセンターと改称し、地域により密着した施設として新たなスタートを切りました。

この2カ月あまり、志津南まちづくりセンターを、沢山の方が利用しました。諸証明取得用に玄関に設置していたカウンターの撤去し、代わりに高齢者でも靴が脱ぎやすいように手すり・ベンチを地域の方の協力で取り付け、より使いやすくなったと好評です。

しかし、諸証明発行業務の終了が完全に周知できておらず、4月には、44人が住民票等を取得失うとまちづくりセンターを訪れました。5月も毎日1〜2人が住民票等を取ることができなかつたため、市民センターの機能の重

まちづくりセンターになつて

志津南市民センターは4月1日からまちづくりセンターと改称し、地域により密着した施設として新たなスタートを切りました。

この2カ月あまり、志津南まちづくりセンターを、沢山の方が利用しました。諸証明取得用に玄関に設置していたカウンターの撤去し、代わりに高齢者でも靴が脱ぎやすいように手すり・ベンチを地域の方の協力で取り付け、より使いやすくなったと好評です。

しかし、諸証明発行業務の終了が完全に周知できておらず、4月には、44人が住民票等を取得失うとまちづくりセンターを訪れました。5月も毎日1〜2人が住民票等を取ることができなかつたため、市民センターの機能の重

等の特典的なノウハウも必要ことから、立命館大学に依頼します。

◇スケジュール
平成29年5〜6月 アンケート調査の制度設計
7〜8月 アンケート調査・個別ヒアリング企画
10月 個別ヒアリング実施
9〜12月 集計・分析・報告書作成
平成30年1月 中間報告・まちづくり行動計画に反映
◇費用
草津市のがんばる地域応援交付金で充当

平成28年度まちづくり協議会決算

※4月23日の総会で承認されたものです

(単位=円)

収入の部		
項目	予算額	決算額
前年度繰越金	2,604,275	2,604,275
会費	2,859,300	2,860,350
草津市交付金・補助金	10,311,220	10,311,220
草津栗東防犯自治会支援金	25,000	25,000
雑収入	1,000	6,095
合計	15,800,795	15,806,940
支出の部		
項目	予算額	決算額
理事会	190,000	157,239
広報委員会	340,000	314,489
事務局職員雇用経費	7,058,900	7,058,900
事務局運営経費	489,000	612,159
防犯カメラ設置費・電気代	300,000	364,704
暮らし安心活動	125,000	122,067
地域福祉活動	1,714,700	2,037,265
子ども育成活動	565,000	459,263
文化体育活動	1,821,500	1,273,681
予備費	3,196,695	0
次年度繰越金	0	3,407,173
合計	15,800,795	15,806,940

まちづくりセンターは、まちづくり協議会が指定管理者として管理運営しております。

ごみ袋については、従来どおり引き換え・販売、粗大ごみ処理券の販売を行っていますので、ぜひお立ち寄りください。

今後とも快適に利用していただけるようハード面の整備も充実していきます。

5月24日(金)に「がんばる地域応援交付金審査委員会」でのプレゼンを終えました。

予算申請額 約75万円

※「がんばる地域応援交付金」は、地域の住民が地域の魅力をより高めて行くことを目的に、まちづくり協議会を対象に交付されます。

9月25日から10月8日の間、会議室の空調設備1台を更新するため全面的に閉鎖します。その間は利用できませんので、ご協力お願いします。

5月24日(金)に「がんばる地域応援交付金審査委員会」でのプレゼンを終えました。

予算申請額 約75万円

※「がんばる地域応援交付金」は、地域の住民が地域の魅力をより高めて行くことを目的に、まちづくり協議会を対象に交付されます。

5月24日(金)に「がんばる地域応援交付金審査委員会」でのプレゼンを終えました。

予算申請額 約75万円

※「がんばる地域応援交付金」は、地域の住民が地域の魅力をより高めて行くことを目的に、まちづくり協議会を対象に交付されます。

9月25日から10月8日の間、会議室の空調設備1台を更新するため全面的に閉鎖します。その間は利用できませんので、ご協力お願いします。

趣味悠々

ポルトガル刺繍
「生命の樹」
縦 126 センチ
横 78 センチ
制作 横山 民子さん
若草4丁目



ひとつと
数年前まで、志津南市民センターでサークル活動として6年間楽しく続けて来ました。クロス地に毛糸で刺していき、表裏ともに綺麗に仕上がるので、自分としては一番愛着のある作品です。

ダイナミックな音色に手拍子も



平成29年度「志津南やすらぎ学級」の開講式が5月24日、志津南まちづくりセンターで行われました。開講式終了後には「エレキ大正琴コンサート」と題し、第一回講座が公開講座として開かれ、約50人が参加しました。写真。講師は、昨年度も志津南やすらぎ学級で大好評を博した、エレキ大正琴デュオ「ニコル」の皆さんにお越しいただきました。第一部では、ソプラノとベースで大河ドラマ「江」の姫たちの戦国ソングのテーマ曲や映画音楽、「パケーション」などの馴染みのある楽曲の数々。第二部

「みんなであいましょう」では、「みかんの花咲くころ」「琵琶湖周航の歌」「河内おとこ節」など人気の高い全8曲を、曲の背景やストーリーの解説を交えて、演奏

満腹満足のビール工場見学



若寿会は5月9日、平成29年度春季バス旅行を実施、40人が参加しました。目的地は長岡京のサントリービール工場。見学が10時からなので、いつもより20分早めの8時40分に出発しました。かがやきの丘で6人に加え、一路ビール工場に向かいました。もちろんビール工場の見学が主で、試飲はあくまで副です。歩きづらい人は入口のソファで休んでいることもできたのですが、全員元気に工場見学に回りました。

「笑顔で仲良く支え合い」をテーマに開催しています。まだ申し込みをされていない60歳以上の方はぜひどうぞ！

40分ほどで工場見学を終え、主目的のビール試飲。写真。歩いたからか、うまい。自分の割り当てと、他人の余剰分で合わせて2杯飲んで、いい気分になる人も。続いて、亀岡の食事処「和なごみへ。トラベル雑誌「るるぶ」に載っていた「人生の楽園」に出てくるようなこじんまりしたお店でした。40人はなかなか対応でき

今年度のやすらぎ学級は「笑顔で仲良く支え合い」をテーマに開催しています。まだ申し込みをされていない60歳以上の方はぜひどうぞ！

ヨシ深き水郷へ分け入りて



ヨシキリ雀のさえずりを聞きながら「近江八幡水郷巡り」を楽しみました。爽やかな五月晴れの中、バスは一路、近江八幡水郷巡りへとまちづくりセンターを出発しました。バスの窓外に早くも田植えを終えた水田が広がる桐生の里を眺めながら、友達同士の話も弾みます。そしてバスは湖西の比叡山から続く比良山の山並みを遠望しながら琵琶湖湖岸道路を快適に走り、長命寺(西国三十三所第三十一番札所)湖畔のびわ

は寿司。料理も作り置きでなく、汁物も暖かく、量も多く完食した人のほうが少ないくらいでした。「今日の夕飯はいらんね」という人がたくさんいて、満腹かつ満足の昼食となりました。続いて保津川あられ本舗。まだまだだったが9の付く日が割れ煎の日らしく、正規品と比べ大分安く、めいめいお土産に買い込みました。最後に大石酒造、酒絞り布で作った小銭入れなどを買い、予定通り17時前に帰着しました。こ観光乗船場に到着しました。一行は観光船2隻に分乗し西の湖(琵琶湖最大の内湖)をめざして長命寺川を進み始めると、早速お弁当に舌鼓。細い水路に入ると「平均水深1.5Mに茂るヨシは1ヶ月に1メートルも成長するが、雪解けの水が多いので現在水面から50センチぐらいに成長したヨシの群生地に入ります」と沖島から来られた船頭さんの説明。川面にはカイツブリが波に揺られてぶかぶか浮かび、ヨシの先にとまっているヨシキリ雀の透きとおった鳴き声が聞こえます。広い西の湖に入ると淡水真珠の養殖筏(県内で70%の生産高)、のんびりとバス釣りを楽しむ人、また右に八幡山の村雲御所を望み、左に新緑の濃淡色の重なりを見せる長命寺山、真正面には伊吹山を遠望という景色、手を伸ばせば届きそうな静かな湖面を進みました。船頭さんから法被と菅笠を借りて写真を撮ったり写真、1時間10分の船旅を楽しみました。途中守山J.Aで買い物を済んだ後、帰途につきました。

小学校体験授業に地域の協力

志津南小学校の子ども達は、地域ボランティアなどの協力を得て、授業の一環としてさまざまな体験学習を行いました。

伯母川で魚捕り



3年生110人は5月23日、環境学習の一環として伯母川で魚とりを体験しました。写真。

普段目にしていても川に入るのは初めての子もたち。どんな生き物があるのかわくわくでした。ほとんどの子どもたちは、魚を捕るのも初めてでしたが、講師の先生や地域の方々に教えてもらい、夢中になって

魚捕りを楽しみました。

捕れた魚や生き物は、カワムツ、アメリカザリガニなど、全部で300匹以上。いろいろな種類の魚がいるん

田植えの苦労を体験



だ「知らない魚や生き物がいた」などの感想も聞かれ、自分たちの住む地域のことを再確認する貴重な体験になりました。

5年生100人は5月23日、総合的な学習の時間「田植えにチャレンジ」で岡本町の農家の田んぼを借りて、手植えの田植え体験をしました。写真。

地域の方に教えてもらい、一本ずつ丁寧に植えていきます。素足で田んぼの中に入るのは、初めての子もたち。最初は、不安な様子でしたが、次第に慣れ、楽



<3>

船倉島の民家

日間の旅でした。

東京都の伊豆七島のうち制覇しているのは、八丈島と新島と式根島のみですが、



屋根の上にロープを乗せた民家

石川県の船倉島(島民80数人程)へは輪島港から出港するが船舶が小さいのと、大半は海が荒れるため今迄度々挑戦し、今回運よく渡島出来ました。港に着いて仰天、大多数の家の屋根に腕の太さの一見20×30メートルの古いロープが蛇が巻いているように乗せてありました。一年の半分位は強い吹雪と強風で、屋根瓦等を防護する為設置しているとの説明でした。生活環境が厳しくとも、先祖代々を守り抜いて、よく耐え抜いて生き抜くその精神に本当に頭の下がる思いがしました。

島です。牧場を経て八巻き登山道と1280段の階段を昇り、八丈富士へ、頂上からの360度の遠望も脳裏に焼き付く景観でした。

しさに変わっていききました。手を使って植えるのは大変なことで、農家の人の苦勞も感じる事ができました。「足や手が、土に吸い込まれるように埋まって、抜

秋の収穫を楽しみに

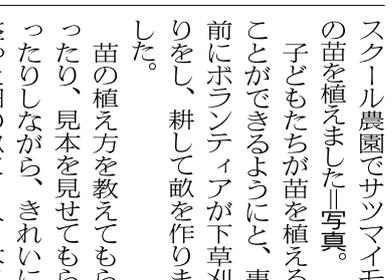


2年生128人は5月9日、緑化ボランティア15人の協力を得て、学校近くの

スクール農園でサツマイモの苗を植えました。写真。子どもたちが苗を植えることができるようにと、事前にボランティアが下草刈りをし、耕して畝を作りました。

けなくなつた」など、土や泥から初めて味わう感触を感想に書いている子どもが多かったです。今後も秋の収穫を楽しみにしながら、稲の成長を見守ります。

ゲームで盛り上がる



今年度の子ども会会員は総勢280人!2部制での開催でしたが、それぞれ90人を超すお友達が参加してくれました。

1年生に自己紹介をしてもらい、それぞれの登校班に分かれてからゲームをしました。ゲームは2種類、まずは新聞いかだゲーム。上級生が1年生を上手くりードし、作戦を練って大変盛り上がりました。次の「聖徳太子ゲーム」は、下級生が頑張って聞き取り上級生

平成29年度かがやきの丘子ども会(村上雅子会長)は4月8日、最初の行事として、かがやきの丘自治会館「きらり」で新入生・転入生歓迎会を開催しました。写真。

学年を超えて友達に



が記入するという連携が出来て、どちらのゲームでも応援したり、協力したり、それぞれの交流を深める良い機会になりました。短い時間でしたが、参加頂いた皆様のご協力のおかげで、お友達との楽しいひとときが過ごせました。

若草・岡本西子ども会(北野実果会長)は5月13日、志津南まちづくりセンターで新入生歓迎会「ウェルカムパーティ」を行ない、1年生から6年生まで総勢46人が参加しました。写真。北野会長のあいさつのおと、1年生の自己紹介を行ないました。伝言・じゃんけん列車ゲーム、連想ゲームなどの後、ビンゴゲームを行ない、子どもたち賞品獲得を目指して盛り上がりました。

学校では話をする機会のない他学年とも友達になることができる楽しい集まりになりました。

さわやかにウォーキング



5月27日、毎年恒例となっている健康推進員連絡協議会(岡敬子代表)の「健康はつらつウォーキング」が桐生方面で開催されました。この時期にしてはとて

も爽やかな天候で、おいしい空気をいっぱい吸いながら、森林浴を満喫しました。

参加者33人は、オランダ堰堤から新緑も鮮やかな「たまみずき路」のユニバーサルロードを一周しました。頂上近くのベンチで持参のおにぎ

りを食べながら話も弾みました。下りからはみんなで、手遊びで脳を活性化し、ギター演奏での歌に昔を懐かしみながら声を張りあげました。11・5km程の

心に残る思い出のメロディ



追分南町内会「元気づらぶ」は5月17日、ポランティアグループ「ラフフレンド」の皆さんを迎えウクレレとキーボードによるミュージックサロンを追分南会館で開催しました。写真。

ラフフレンドさんの演奏で、参加者21人が心に残る思い出の懐メロを合唱し、楽しいひと時を過ごしました。

距離を完歩してウォーキングに最適な楽しい一日となりました。ありがとうございました。

一斉清掃に750人が参加

若草・岡本西地区は5月21日、一斉清掃を実施。若草中央、若草東、若草西児童公園をはじめ各町内会の児童遊園、緑道を中心に清掃活動が行われました。



住民750人がカマや竹ぼうきなどを手に集合、前日に各町内会役員、ボランティアの皆さんに機械刈りしていただいた雑草や剪定後の小枝などを整理、回収に汗を流しました。写真。

「パソコンの駅」盛況

志津南まちづくりセンターは、4月21日、4月28日、5月25日の3日間、13時〜16時に、ワードやエクセルなどの汎用ソフトの使い方



で困っている方へのサポートを行う「パソコンの駅」を開催しました。写真。

4月から地域役員になられた方のパソコン相談が多く寄せられ、地域での配布文書・回覧文書のワード・エクセルでの入力から、前任役員から引き継いだUSBメモリの使い方、データのコピーの方法などの解決へのお手伝いをしました。

「パソコンの駅」は、地域役員の仕事に関するご質問はもちろん、それ以外のご質問でもお越しいただけます。

す。30分以内・500円で、地域役員の仕事に関するご相談は無料です。

次回「パソコンの駅」は、6月21日(水) 13時〜16時に同センターで開催です。

ワード基礎講座開催

志津南まちづくりセンターは、次の要領で「志津南

折々の記



ある日の子育てサークルでの一コマ。「何が入っているでしょうか?」突き出された握り拳を見て、思い

思いに答える子どもたち。「正解は...」キラキラした

目で見つめる子どもたちの前で開かれた手には...何も

ない!ポカンとする子どもたちに一言「空気がした!」

キョトンとする子に「覚えてね。く・う・き」と主催

者の一言。苦笑いのお母さんたちは対照的に、新しいもの(?)に出会った子

どもたちは再び目をキラキラさせて「く・う・き」と

繰り返す。微笑ましく思うとともに、この純粋な子ど

ろの一言。苦笑いのお母さんたちは対照的に、新しいもの(?)に出会った子

どもたちは再び目をキラキラさせて「く・う・き」と

繰り返す。微笑ましく思うとともに、この純粋な子ど

ろの一言。苦笑いのお母さんたちは対照的に、新しいもの(?)に出会った子

どもたちは再び目をキラキラさせて「く・う・き」と

繰り返す。微笑ましく思うとともに、この純粋な子ど

ろの一言。苦笑いのお母さんたちは対照的に、新しいもの(?)に出会った子

どもたちは再び目をキラキラさせて「く・う・き」と

繰り返す。微笑ましく思うとともに、この純粋な子ど

ろの一言。苦笑いのお母さんたちは対照的に、新しいもの(?)に出会った子

パソコン講座 「ワード基礎」を開催します。

▽日時 7月13日(木)、14日(金)、18日(火)、20日(木) 9時〜12時(全4回コースです)

▽場所 志津南まちづくりセンター 多目的室

▽内容 ワードの基本的な使い方の修得

▽対象 文字入力ができる

もたちの健やかな成長を願

い、将来が楽しみに思えた。

この子たちも小学生になり、中学生になり、どんどん大人の階段をのぼっていくことだろう。私たち大人

がこの子たちに出来ることは何だろう?これまで当たり前前に思えたPTAさえも、

今は大きな話題となつて

いる。「任意団体だ」「仕事

業のようだ」そんな文字が

乱れ飛ぶ。果たしてすべて

のPTAがそうなのだろうか?

今年の志津南小学校のPTA

スローガンは「よその子もみんなうちの子、南っ

子」と聞いた。子どもたち

をみんな育てていこうという

意思の表れに思える。

志津南学区は保護者だけで

方

▽定員 先着順 10人

▽器材 各自持ち込み

▽参加費 2000円

▽申し込み 申込書と参加

費を志津南まちづくりセ

ンターまでお持ちください

(電話受付不可)

▽問い合わせ 志津南まち

づくりセンター

電話(563)6206

なく、安全パトロールや緑

化ボランティアの方々など、

多くの方が子どもたちの安

全や成長を手助けし見守っ

てくれている。そんな地域

に住んでいることを幸せに

思うし、誇りに思う。PTA

Aという組織も、子どもの

未来の宝物

「任意団体だ」「仕事業のようだ」そんな文字が乱れ飛ぶ。果たしてすべてのPTAがそうなのだろうか?

今年の志津南小学校のPTAスローガンは「よその子もみんなうちの子、南っ子」と聞いた。子どもたちをみんな育てていこうという意思の表れに思える。

志津南学区は保護者だけで

方

▽定員 先着順 10人

▽器材 各自持ち込み

なく、安全パトロールや緑

化ボランティアの方々など、

多くの方が子どもたちの安

全や成長を手助けし見守っ

てくれている。そんな地域

に住んでいることを幸せに

思うし、誇りに思う。PTA

Aという組織も、子どもの

安全や成長に大きく寄与す

る団体なのではないだろう

か。地域の方々からも支援

されている志津南学区では、

PTA活動も明るい気持ち

で取り組める環境なのでは

ないだろうか。

子どもたちのキラキラした瞳を守り続けること。それが大人である私たちのつとめであろう。前向きな大人の背中を子どもたちにも見せていきたい。未来の宝物を地域全体で育てていける、そんな志津南学区であり続けてほしいと思う今日この頃である。

(七)太郎